

農園通信 7月



サツマイモ組の植付けた作物はひと月ほどで定着し、順調に生育しています。

しかし、個々の取り組みの相違から収穫遅れでレタス類が伸長しているのが散見されます。そんな様子を他人事のように学生たちは「クリスマスツリー」みたいといっています。

6月の気温は記憶に新しいことと思いますが、平年より高く推移しました。梅雨寒を感じるようなことはほとんどなく、雨はしとしとではなく、



まとまって降りました。そのため、畑は乾燥する時期がありました。収穫の遅れたラディッシュは地中の水分を求めて根を深く伸ばし、二段の球が生じたものもありました。



猛暑の中、学生たちは自分の畑の管理にやってきます。そんな学生の水分補給に、農園で栽培した大麦で麦茶を作っていることは過去に触れました。

この夏は赤紫蘇ジュースを味わってもらっています。それに加え、今年は梅も相当量収穫できたので梅シロップを作り、こちらも冷たく、のどを潤してもらっています。紫蘇ジュースや梅シロップを飲むと「おばあち



ゃんが作ってくれます。」としばしば学生から聞きました。また、梅は赤紫蘇を使って梅干しにもしました。暑さの中、塩分補給にも貢献します。



今年もブルーベリーの収穫が始まりました。収穫する学生の天敵がイラガの幼虫です。学生が被害を受けないように時間を見つけて駆除をしています。